

大学スポーツはどう変わるか？ ～日本版NCAAへの期待～

江戸川大学社会学部教授

小林至


平成30年8月16日

日本版NCAA創設事業

- 大学横断的かつ競技横断的統括組織
 - 運動部員（スチューデント・アスリート）、指導者、運動部、その所属大学、および大学競技連盟（学連）による共同組織
- プラットフォーム～課題に対して共同して対応→大学スポーツと大学の発展を促進
- 大学の発展～帰属意識の向上、コミュニティづくり

日本版NCAA創設事業

- 民間企業には→経団連
- 農業者には→農協（JA）
- 高校スポーツには→高体連
- アメリカの大学スポーツには→NCAA
- イギリスの大学スポーツには→BUCS
 - 日本の大学スポーツには？

- 自主自立  ガバナンス
コンプライアンス

では、かたまりとなつて、
どんなことをやるのか？

→本家NCAAの理念は？

NCAA～全米大学スポーツ協会

- 大学スポーツの中央統括機構
 - 所属大学の運動部間の連絡調整、管理など、さまざまな運営支援
- 1123の加盟大学
 - 46万人以上の選手Student-athlete
 - 当該競技に関わる自己負担なし
 - 訓練費用、用具、遠征費など
 - 3つのディビジョン
 - 39の連盟（カンファレンス）
 - 24の競技、90の大会の運営（1000億円超の興行収入）
 - 大学スポーツ市場規模は1兆円超
- 専任スタッフ500人

NCAAの成り立ち

- 1906年創設
 - 大学対抗アメフトにおける負傷や死亡事故の多発
- アメフト、バスケの人气が沸騰（1920年代～）
 - スカウティング、学力基準にルール導入が求められる

NCAA、3つの理念

• Academics (学業との両立)

- 練習時間の制限
 - シーズン中～1日4時間、週20時間、1日の休息日など
- 学業成績により選手資格を制限
 - 入学時（高校時代）の成績
 - 入学後は、取得単位数や成績

• Well-being (安全と健康)

- 健康保険
- 補償制度
- 食糧保証 (DIとDII)

• Fairness (公正)

- 男女平等 (title IX)、LGBTへの配慮
- 奨学生の数
- Academics, well-beingなどもfairnessの一環

***	NCAA DIVISION I	***
Sport	Men's	Women's
Baseball	11.7	12
Softball		
Basketball	13	15
Track & Field	12.6	18
Football	85	0
Golf	4.5	6
Gymnastics	6.3	12

Athletic Department

- スポーツ局
- 学内の運動部を統括
 - 学長（理事長）の直轄
- スポーツ局長（Athletic Director）
 - 経営管理
 - NCAA規則の運用
 - 人事（運営スタッフ、各部指導者）
 - 施設管理
 - 資金集め（学内、学外）
- 所属**1123**大学計**10**万人以上の雇用

ここまでの検討状況について

大学スポーツの振興に関する検討会議

(2016年4月～)

→日本版NCAA検討のタスクフォース



日本版NCAA創設に向けた
学産官連携協議会 (2017年9月～)

3つのWGで制度設計

- ・安全安心
- ・学業充実
- ・マネジメント

大学スポーツ振興を推進する大学の選定 (8大学)

大学スポーツの可能性

- 人格の形成

- フェアネスの精神、目標に向かっての努力・鍛練、スポーツマンシップ

- 学内、卒業生、地域のコミュニティ形成

- スポーツの発展、社会の発展に寄与する資源

- オリンピアンの2/3
- 歴史と伝統に彩られた対抗戦
- 人材、施設、ネットワークなど

大学スポーツの課題

●大学スポーツの課題

- 自主・自律の課外活動としての位置づけ
- 大学の競技団体（学連）は、競技・地域ごとの組織で、法人格を有しない組織も存在。

➤学生アスリートの学業環境

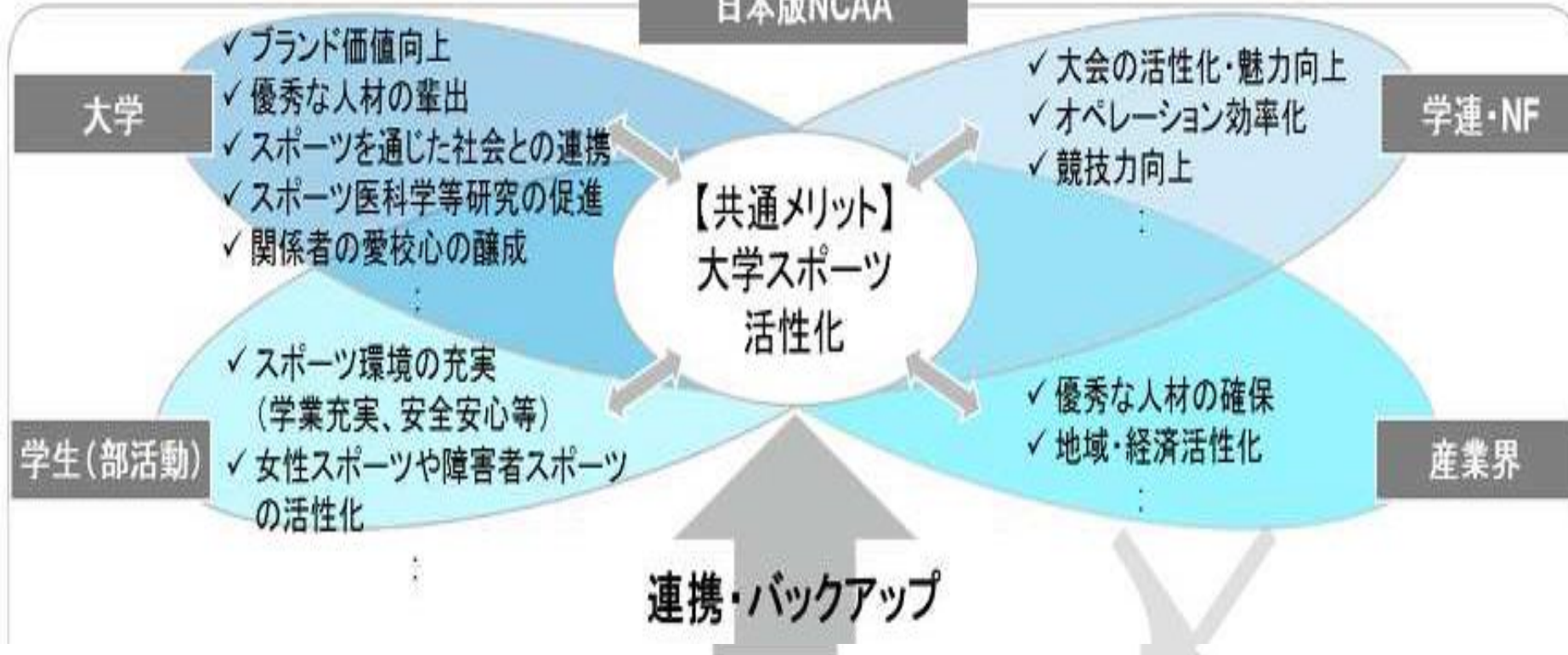
➤指導者や資金の確保

➤責任体制、事故・事件時の対応

➤大学の教育・研究との連携

➤ナレッジの共有（大学間・学連間の連携、横展開）

日本版NCAA



	ルール等整備機能	調整支援機能	情報提供機能	その他
担うべき役割	学業、安全に係る ガイドライン整備	大学間調整	けが・事故データ	地域連携支援
	ルール遵守状況 モニタリング	大学⇄学連間調整	競技・競技者数データ	保険活用支援
	ルール遵守に係る お墨付き	ひな型整備 (会計等)	マーケティング等の分析 データ	⋮
活動資金の 獲得手段	会員の組織化 データベース化	OB・OGからの 支援	スポンサー	会費

日本版NCAA設立準備委員会

- 7月24日に発足
 - 87大学、23団体
- 2019年2月の創設をゴールとして
- 詳細は、作業部会で・・・
 - 学業充実
 - 安全安心・医科学
 - 事業・マーケティング

学業充実分野

入学前から在学中、卒業後のキャリア支援まで一貫通貫で整備すべき内容を検討

No.	テーマ名
1	入学前からの動機付け
2	学習機会確保
3	成績管理・対策、さらなる動機付け
4	キャリア支援

安全安心・医科学分野

事故情報の集約や安全ガイドラインの整備から、ガバナンス体制構築、指導者研修など

5 事故情報の集約化

6 共通ルールの設定

7 ガバナンス体制の構築、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築

8 指導者研修

事業・マーケティング分野

法人設立に向けた組織整備、プラットフォームや広報・スポンサープログラムの策定

9 大会レギュレーションの整備

10 個別データの管理・活用

11 シェアードサービスの提供

12 大学SA支援、マーケティング・会計ルールに関するガイドライン整備

13 広報戦略の策定・展開

14 スポンサープログラム及び賛助制度の策定

15 組織整備

スポーツ局の設置

数値目標



日本版NCAAの設立に向け

スポーツアドミニストレーターを配する大学数



100 大学

具体的な施策



スポーツ
アドミニストレーター

大学におけるスポーツ分野を戦略的かつ
一体的に管理・統括する部局や人材

主導



- スポーツによる大学活性化
- 大学のスポーツ資源の活用
- 質の高いスポーツ人材の育成
- 学生のスポーツ環境の整備

大学スポーツを地域・経済の活性化の起爆剤へ

大学スポーツ振興の推進事業選定大学①

	大学名	取組の具体例
1	関西大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「KSAP(※)」の実践による学生アスリート向けキャリア形成支援 ・大学スポーツアドミニストレーターの導入を含むスポーツ分野統括組織の強化 ※KAISERS Student-Athlete Program
2	国際武道大学	<ul style="list-style-type: none"> ・既存分掌型組織の枠組みを超えた横断的連携によるレイヤー型スポーツ局の設置 ・オルカ鴨川FC(なでしこリーグ)と女子サッカー部の連携を軸とした地域活性化
3	国士舘大学	<ul style="list-style-type: none"> ・国士舘スポーツプロモーションセンターの設立 ・大学スポーツの安全・安心の確立に資するプラットフォーム構築事業 ・スポーツ倫理への取り組みに関する実態調査と指導プログラムの開発
4	仙台大学	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ局設置によるスポーツ活性戦略の立案推進とスポーツ領域の統括 ・ホーム&アウェイ型試合の試験的実行とスポーツボランティア普及啓蒙活動
5	東京国際大学	<ul style="list-style-type: none"> ・国際スポーツアドミニストレータ育成の推進 ・国際経験豊富なスポーツ指導者によるスポーツ教育とネイティブ教員による品格ある英語教育の推進
6	新潟医療福祉大学	<ul style="list-style-type: none"> ・アルビレックスグループと連携した人材育成 ・障害者スポーツ(陸上及び車いすバスケットボール)のさらなる振興
7	法政大学	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アスリートのキャリア形成支援の強化 ・社会人向け履修証明プログラム「健康とスポーツ」の開設
8	武庫川女子大学	<ul style="list-style-type: none"> ・大学スポーツを通して、学生アスリート・サポーター・地域店舗の3者を繋ぐコミュニティーの形成 ・地域児童に対する多種目体験事業の実施 他

大学スポーツ振興の推進事業選定大学②

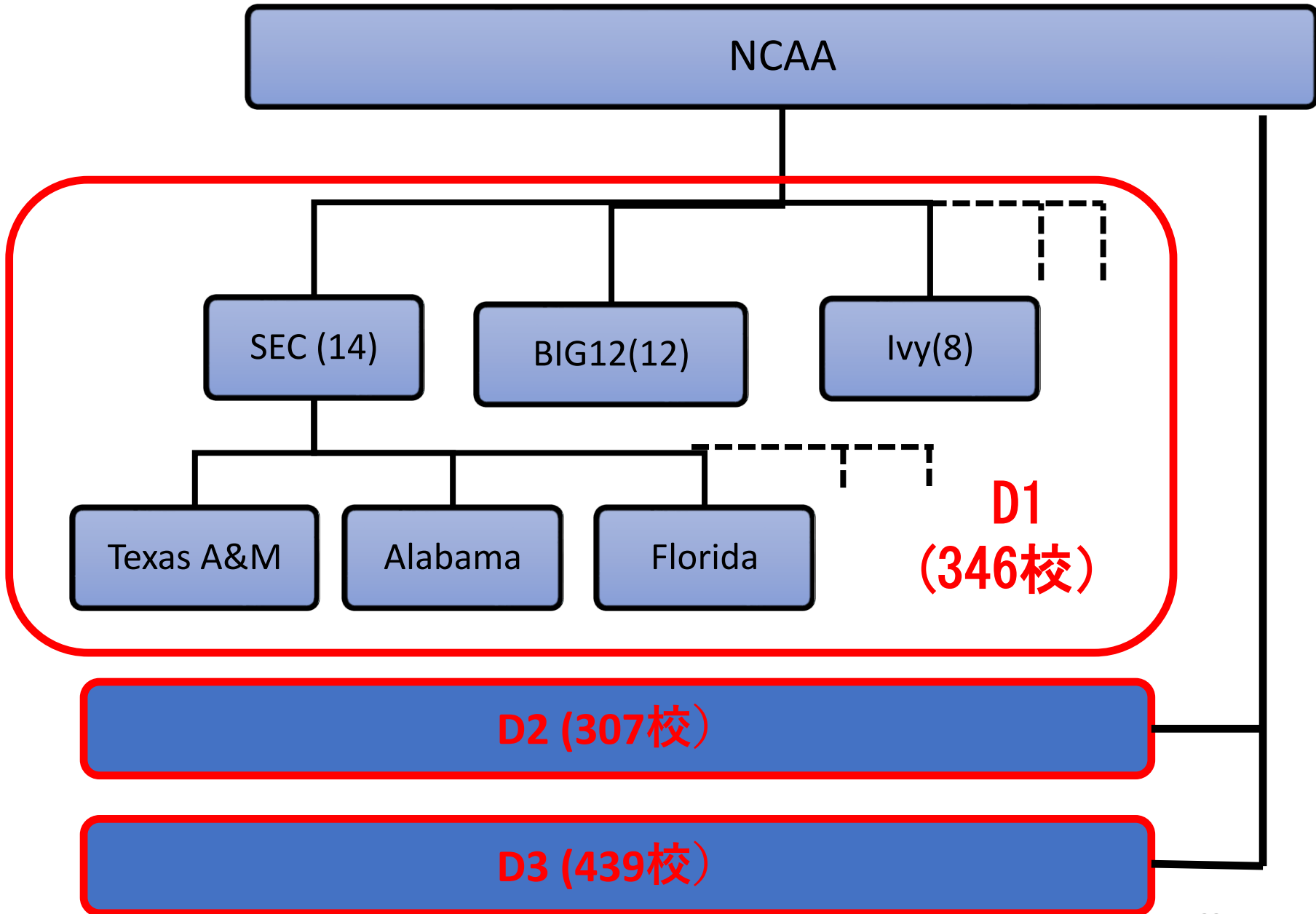
	大学名	取組の具体例
9	山梨学院大学	<ul style="list-style-type: none">・山梨学院カレッジスポーツセンター統括組織・業務分野の再整備・YGUスポーツを活用した産学官連携事業の検討・本学クラブ活動の評価システムの構築・検討(表彰制度創設の検討)
10	大阪体育大学	<ul style="list-style-type: none">・学生アスリートのデュアルキャリア支援体制の検討と研修プログラムの企画・開発・大学スポーツ振興と自治体と連携・協働した地域貢献、地域活性化の施策の検討
11	鹿屋体育大学	<ul style="list-style-type: none">・ブランドロゴの作成事業・ブランド浸透イベントの実施
12	順天堂大学	<ul style="list-style-type: none">・パラリンピック教育の推進に向けたパラスポーツ体験会の実施・学生ボランティア組織の整備とパラスポーツの指導法の研究と情報発信
13	筑波大学	<ul style="list-style-type: none">・大学スポーツの数値化(KPI策定)と安全・安心プログラムの開発・アスレチック部門の発信プラットフォームの整備と広報の開始
14	日本体育大学	<ul style="list-style-type: none">・クラブ間の連携による相互応援文化の創成と定着・大学スポーツにおける寄付プログラムのモデル構築
15	立命館大学	<ul style="list-style-type: none">・大学スポーツの振興に向けた関西圏の大学、競技横断的な組織基盤(KCAA※)の整備・スポーツ活動と学業の両面の高度化に資する取り組み(SSP※)の推進

ご清聴ありがとうございます
ございました



Appendix

- NCAA付記



2014-15年NCAA所属大学 収入ランキング

順位	大学	カンファレンス	総収入
1	Texas A&M	SEC	\$193
2	Texas	Big 12	\$184
3	Ohio State	Big Ten	\$167
4	Michigan	Big Ten	\$152
5	Alabama	SEC	\$148
6	Florida	SEC	\$147
7	LSU	SEC	\$139
8	Oklahoma	Big 12	\$134
9	Tennessee	SEC	\$126
10	Penn State	Big Ten	\$125

	top	bottom	平均
NFL	\$539	\$229	\$286
MLB	\$461	\$159	\$237
NBA	\$295	\$109	\$152
NHL	\$142	\$61	\$88
EPL	\$609	\$94	\$215

単位：100万米ドル

March Madness

NCAA男子
バスケットボールトーナメント



予選を勝ち抜いた68校によるトーナメント

春休みに3週間 (3月中旬～4月初旬)

放映権収入だけで年間7億7,000万ドル

◆ 2011～2024までの14年間契約 (総計108億ドル)

◆ 1試合あたり1,150万ドル

出場チームの監督の平均年俸176万ドル (2016年)

◆ 最高額は730万ドル